

国際ロータリー第2790地区
東金ロータリークラブ会報
2006年10月17日 第48回 第16号 諸記2303号

2006-07年度 国際ロータリーのテーマ

率先しよう

R I 会長 ウィリアム・ビル・ボイド
ガバナー 白鳥 政孝
ガバナー補佐 菅井 直秀
会長 秋葉 芳秀
幹事長 尾 邦俊
クラブ広報委員長 山本 忠司

第2303回例会 10月17日 12:30点鐘 例会場

今週の合唱 = 手に手つないで

会長挨拶 幹事報告 ニコニコBOXの発表 委員会報告

卓話 山下清人会員 出席報告 閉会宣言

* * * * * 前回の記録 (10月10日) * * * * *

会長挨拶 秋葉芳秀会長

42年前の今日、東京オリンピックの開会式が行われました。当時、私は中学3年生なので、高校受験勉強と並行してテレビに夢中になっていた記憶があります。勉強に熱が入らないのは当然のことでしたが、全国の同級生全員も同じ状況のはずです。あの時から42年も過ぎ去りました。過ぎし日を思い出すと、皆様も感無量でしょう。

さて、お手元に拡大増強プロジェクトの取っ掛かりとも言うべき職業分類表が配布されていると思います。全部を10グループに分け全員の名前を記載してありますが、未完成ですので、これから更に詰めます。まずは、これを取っ掛けにして活動を展開することになります。試行錯誤しながらの活動であり、走りながら考えることになりますが、24日にキックオフします。

東金ロータリークラブの年齢構成は65歳以上の方が約20名で、全体の50%を超えています。その方にとてみれば、あくせくせず、ゆったりとした気分で、悠々自適のクラブ活動をお望みでしょう。今更、数値目標に向かって動くことなんかご免だ、とのお気持ちちは当然のことです。なぜならば、それが歳を重ねるということの自然現象だからです。私もあと10年



もすればそのような気分になると思います。夏目漱石は「流れに棹させば流される。意地を通しては窮屈だ。とかくこの世は住みにくい」などと言っていますが、今回は漱石の人生観そのままの流れに棹をさし流されながらも、目配りをし、情報収集などをすることになります。私のクラブ会長としての責務は、会に入っていて良かったと思えるクラブ内容にすること、と覚悟しております。その為には、もっと大きいクラブにし、多様多才なメンバーを充分に確保し、活気があり、勉強になるクラブに向かって動く必要があると考えます。皆様の行動とご協力をお願い申し上げます。

幹事報告 市東弥寿雄副幹事



* 米山梅吉記念館探訪旅行の御案内

11月12日(日)13日(月)千葉駅北口広場
7時40分集合 8時出発

10月25日までにFAXにて返信

該当者 小林信雄会員・米山奨学生

* 地区職業奉仕・社会奉仕委員会合同研修の御案内
11月1日(水) 午後3時00分点鐘
ホテルポートプラザちば

10月25日(水)までに出欠の回答を

該当者 秋葉芳秀会長・鈴木康道委員長・
小林信雄委員長

* 2007年国際ロータリー第98回年次大会

ソルトレイクシティのチケット登録申込み案内

米山奨学生授与 クオンミチ様

韓國のお盆に帰国し、
韓國の王様が食べた韓國のお菓子をお土産に
お持ちしました。
是非ご賞味下さい。



城西国際大学 プルチョウヨシコ様

来日した留学生達に
暖かい手を差し伸べ、
少しでも彼らの留学を
実りあるものにする留
学生ホストファミリー
制度にご協力をお願い
します。



卓話 宮原信道会員

「要注意・ほくろ・いぼ」医事評論家 西来武治談
日本人には少なかった皮膚ガンが最近増えています。

皮膚ガンの大部分は、顔、首、胸、うなじ、上背部によく発生します。この部分は身体の他の部分に比べて、陽にさらされる機会が多いところです。



皮膚ガンと紫外線の関係を物語っているようです。外から見えない胃ガンや肺ガンなどと違い皮膚ガンは乳ガンと並び外から発見できるガンです。その手がかりは、先ず、ホクロ・イボ・黒アザ・等の変化を見つける事です。

1、ホクロ・イボの変化に注意

ホクロや黒アザ・青アザはまとめて「色素性母斑」と呼ばれ、これらは皮膚にあるメラノサイトの異常増殖によるものです。これらの殆どは良性のものですが、中年を過ぎて急に「ホクロ」や「アザ」の色が真っ黒になる、赤みが掛かる、出血する、崩れてじゆくじゆくする、周囲に根が張る、等の変化が現れた場合は要注意で、クチの悪い黒色ガンが考えられます。これはちょっと刺激すると急に大きくなり方々へ移転するもので皮膚ガンでは一番怖ろしいものです。

2、イボのいろいろ

イボは「普通のイボ」「小さいイボ」「老人性イボ」「幼児の水イボ」など四種類に分けられます。これらは何れも同じイボウイルスが原因で皮膚の外側の表皮が増殖したものです。イボには悪性化するものはまずありませんが紅褐色や黒色の場合で、ジメジメしたり出血の場合、悪性の腫瘍が疑われます。イボは自然に消えてしまうものもありますが、人や他の場所に移つたりしますから早めに専門医に診てもらうことです。

3、いじらないこと

ホクロの無い人はいませんが、専門医は色、形、大きさ、の変化に注意するよう指導しています。

もう一つは気にし過ぎていじらないこと。美容上、或いは人相学的に凶相と言う事で軽い気持ちで取つたり電気で焼いたりすると今まで眠っていたメラノーマの芽がこうした刺激で突然活動を始める事になるからです。

4、外科療法が第一

そんな怖いメラノーマですが治療法は早期に見つけて手術を受けることです。最近は外科療法を統合して放射線療法、化学療法、免疫療法も進んでいますがそれらの療法を組み合わせた治療が行われています。

その他 悪性黒色腫(メラノーマ)と言う怖いガン

私の親しくしていたM医師が裸足でテニスをして、たまたま火のついた吸い殻を踏んで軽い火傷をしました。その跡がホクロの様に黒くなったのですが大したことは無いと思っていました。ところがそれが1つの間にかガン化して診て貰った時には足首から切断しなければ命に関わるとと言われました。悩んだ末に切断に踏み切ったのですが、すでに手遅れで、その後暫くして亡くなりました。ホクロのガンもメラノーマと言いメラノサイトがガン化したもので、極めて悪質の腫瘍です。



母、葬儀の御礼 ··· 小林信雄会員
誕生日の御礼 ··· 井上五男会員
誕生日・結婚祝いの御礼 ··· 杉田憲治会員

出席率

会員	出席者	出席率
33名	27名	81.81%
コインBOX		2,700円

欠席連絡は、前日までに事務局宛に、電話、FAX Eメールにて、お願い致します。
緊急の場合は当日10時までに
メーラップ先への事前連絡もお忘れなく
電話 0475-52-1101 FAX 0475-55-5766
E-mail:touganerc@2don.ne.jp